



札幌市議会議員 豊平区

小竹知子の市政だより

やさしさと情熱を市政に

■発行所/小竹知子政務調査室

〒062-0020
札幌市豊平区月寒中央通6丁目3-28
TEL(011) 851-1300
FAX(011) 851-1360
メールアドレス kotake-tomoko@parl.biz

平成23年 第4回定例会市議会において 初の代表質問

1 市長の政治姿勢について

- (1) 財政問題について
- (2) 都心のまちづくりについて
- (3) 被災地のがれきの受け入れについて
- (4) 再生可能エネルギーについて
- (5) TPPに対する考え方について
- (6) 大阪市長選の結果などについて
- (7) 家庭ごみの戸別収集について

<市長の政治姿勢>

税の涵養を図るため、公共事業の推進や民間活力の活用など、より戦略的、効果的な施策を速やかに実行すべきと指摘。

Point

2 公契約条例について

- (1) 入札制度改革について
- (2) 法的な問題について

Point

市民、議会に対して説明不足のまま、制定ありきで臨む強行姿勢は、甚だ遺憾。先ず入札制度改革等、必要な施策を行うべきであり、憲法、地方自治法、独占禁止法といった観点からの問題点を追及しました。

3 防災教育の取り組みについて

<「助けられる人」から「助ける人」へ>

震災8か月後の被災地を視察し、岩手県「釜石の奇跡」に学び、災害教育の重要性を再認識。本市においても起こり得る災害に備え、各局、教育委員会などの連携した取組を強く訴えました。※東日本大震災の津波による死者・行方不明者が1000人を超す釜石市で、小中学生は2921人が津波から逃れた。学校にいなかった5人が犠牲となったが、99.8%の生存率は「釜石の奇跡」と言われる。命を救ったのは、ここ数年の防災教育だった。

Point

Point

5 高齢者福祉について

<老人クラブ活動費補助金の見直し案について>

一昨年の事業仕分けの結果見直された補助金について、第3回定例会決算特別委員会に引き続き、質問しました。老人クラブの実情を考慮し、十分な理解を得た上で新制度をスタートさせると、市側の答弁を引き出しました。

4 障がい児・者福祉施設「静療院」について

Point

現施設の老朽化に伴い、新しい複合施設の役割を考える時、市の改修案には疑問を感じる。増築も含めて、利用者の意見や要望などをできるだけ取り入れて検討していく旨の回答を引き出しました。

6 運動部活動外部顧問派遣モデル事業について

<外部派遣モデル事業>

子どもたちは、現在、「したい部活動」ではなく、「今ある部活動」から、消去法で選んでいます。この10年で運動部の数は1,194から980へと減少。顧問になっている教員は、全教員の6割と変わっていません。教職員経験者を外部顧問として派遣する事業をより充実させるよう求めました。

Point

7 コミュニティ施設等の管理運営について

地域での活動の場として、地域住民や地域に密着して管理運営を行っているコミュニティ施設などについては、指定管理者選定の際に、「地域の特性」を充分理解した団体であることなど、一定の配慮が必要ではないかと市側に対して強く訴えました。

Point

北海道建設新聞・平成23年・12・7付一面

12年秋にも着工

札幌病院診療院改修で増築も

札幌病院診療院改修工事の進捗状況について、札幌市保健委員会が12月7日、札幌市保健局から説明を受けた。改修工事の進捗は、予定通り進んでいると報告された。また、改修工事の進捗状況について、札幌市保健委員会が12月7日、札幌市保健局から説明を受けた。改修工事の進捗は、予定通り進んでいると報告された。また、改修工事の進捗状況について、札幌市保健委員会が12月7日、札幌市保健局から説明を受けた。改修工事の進捗は、予定通り進んでいると報告された。

これまでのふりかえって 小竹知子の活動日誌

市政要望ヒアリング



福祉の現場を歩く



千葉智正園長、有田京史理事長と共に

羊ヶ丘養護園にて



みかほ整肢園にて

左から伴市議(北区)、小竹(本人)、宮村市議(清田区)、阿部市議(白石区)。

月寒神社礼大祭



「つきさっぷ・神輿会」の仲間と共に御神輿を担ぐ。

夏まつりで...



美園リンゴ祭りでは八紘学園の産直野菜を販売。

豊平壮年野球大会



開会式にてつきさっぷ壮年野球チームと一緒に。

月寒町内会40周年



小竹知子プロフィール

- 昭和34年9月 豊平区月寒にて生まれる。
- STVラジオ「ランラン号」キャスタードライバー、旅行添乗員を経て、結婚後は、家業の小竹金物店を両親、夫とともに営む。子どもは一女三男。
- 母校の札幌月寒高校PTA会長、北海道高等学校キャリア教育推進協議委員を歴任。
- 現在は、札幌月寒高等学校評議員、同校同窓会副幹事を務める。
- 平成23年4月 札幌市議会議員選挙にて、初当選。
- 現在は、経済委員会副委員長、経済雇用対策・新幹線等調査特別委員理事。会派内では、災害・経済対策プロジェクトと公契約プロジェクトに所属。

【活動報告】はブログで! 随時更新中
ブログ <http://ameblo.jp/k-tomoco/>



一 委員会質問 一

教育環境の改善

今、家庭の経済状況や、虐待、ネグレクトなど複雑な環境にいる子ども達がふえています。このような環境の改善にむけて、教育と福祉の両面からの支援体制がとれるスクールソーシャルワーカーの増員を教育委員会に求めました。

商店街振興対策

夏まつり、神社祭、アイスキャンダルなどさまざまなイベントや、防犯・美化活動など、「まちづくり」、そして、「地域」のために汗を流している「商店街」をしっかり応援していきます！

地下鉄増収対策

札幌市経済の活性化のために！地下鉄余剰空間の有効活用、広告料収入増のために、より積極的な営業活動が必要であり、その現状について質問しました。

カーリング場の建設

平成24年8月末に、通年型の「札幌カーリング場」が、月寒体育館横に完成します。

関係者にとっては悲願達成ですが、一方では、多くはない競技人口、経費、運営面などでの問題点もあり、その行き先を心配する声もあります。

質問に先立って、カーリング女子チームの監督新井貢氏（札幌国際大）とカーリング協会事務局長菊池富美子氏に現状や課題などを伺いました。施設を箱ものにしないうるためにも様々な取組をしなければいけないことを強く感じました。例えば、小学校の授業に取り入れる、市民にカーリングの醍醐味を知ってもらえるよう、プロ選手の専用レーンのすぐ隣で一般客が練習し、高度な技術を間近で見られるよう工夫するなどです。人気スポーツとして、カーリングが根付き、国際交流、経済効果を高め、スポーツ都市札幌として華開くよう市に対して普及振興策の推進を強く要望しました。

「人づくりの充実」定時制生徒との出会い



対面式の様子

商店街でのゴミ拾い



母校である札幌月寒高校のPTA会長をつとめたときに、定時制の生徒たちとの出会いがありました。「困難な状況を乗り越え、4年間の課程を修了し、誰一人として中退することなく、なんとかがんばって卒業してほしい」と、定時制の入学式の祝辞で申し上げました。かねてより、月寒中央商店街を中心に「アルバイト獲得大作戦」や「押しかけボランティア」などで、定時制の生徒たちはビラ配りや商店街のゴミ拾い、店内清掃などの活動をしてきましたが、今年からは、美園商店街さんにも協力していただけることとなり、その範囲を広げることができました。定時制の生徒には、不登校の経験者もいて、まず、実社会でのさまざまな経験を通して、「コミュニケーション能力を高めていくことが必要と感じています。今後、地域にあって「人づくりの充実」につなげていける活動をしてまいります。

視察報告

品川区 すまいるスクール



囲碁の講師は元校長先生

●東京都品川区 すまいるスクール
全児童を対象とした「放課後子どもプラン」
・勉強会（宿題・学習・苦手科目の勉強）
・教室 地域ボランティア講師が中心となり、囲碁・将棋・活け花・茶道・パソコン・英会話・踊り・体操などの教室を開催。
・フリータイム
体育館、グラウンドを使って伸び伸びと遊ぶ

熊本市



●ここのとりのゆりかご
日本中に議論を呼んだ「赤ちゃんポスト」熊本市慈恵病院
「救われる命がある」重たい事実

大阪 視察



●大阪役所
生活保護受給者数15万人突破（18人に1人）全国ワースト1の大阪市へ11月に発足された不正受給者対策プロジェクトチームについて調査

八王子市小児・障害 メディカルセンター



●小児・障害メディカルセンター
平成23年4月開設。発達に偏りや遅れのある子どもたちの成長を支援するための早期発見・早期対応につなげる相談や療育支援を行う施設を視察しました。

震災8か月後の 被災地を視察



●大槌町（中心部が水没～大きな被害発生）
人口16,516人の内、死者802人、行方不明505人（平成24年1月現在）
（大槌町役場）
町長は11日の地震直後、役場前で職員約30人と対策本部会議を開いていたところ、押し寄せた津波にさらわれ後に遺体となって発見されました。一緒にいた多くの職員の行方も分かっていないとのこと。



南三陸町防災対策庁舎（前で）
「避難してください」命の限りアナウンスし続けた女性職員をはじめ32人の職員が津波の犠牲に…

